

体腔鏡下腎摘出術を受けられる患者様へ

患者氏名：

経過	入院前 (外来)	入院日 (/)	手術前日 (/)	手術当日 (/)		術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	術後3日目 (/)	術後6～8日目 (/ ～ /)
				術前	術後				
目標	手術の目的が理解できる。	手術の関連した説明内容が理解でき、実施できる。	全身状態に関し、手術可能である。	意識レベルが清明で血圧・呼吸が安定している、痛みが軽く夜間入眠できる。	血圧が安定している、ドレンからの排泄が少ない、離床できる。	ドレンの排泄の性状に異常がない、高熱がない。	創部の感染がない、痛みが改善する。	術後の合併症がない、退院後の自己管理ができる。	
検査受診	・術前検査(採血・尿検査・レントゲン・心電図・肺機能検査等)があります。			・手術後から翌朝まで心電図モニターを付けさせていただきます。	・採血 				
処置	* 検査で異常があれば他科受診があります。		・おへその掃除をします。 ・下剤内服があります。	・朝、排便なければ坐剤処置があります。 ・手術前に弾性ストッキングを履きます。 ・褥創予防のために軟らかいマットレスを使用します。歩行可能になったら通常のマットレスへ変更します。	・お腹に管が入ります。 ・指示にて酸素吸入をします。 ・尿を出すための管を入れます。 ・痛み止めの薬が背中から入ります。	・歩行できたら尿の管を抜きます。	・お腹の管を抜きます。 ・ガーゼを交換します。 	・痛み止めの管を抜きます。	
薬剤	・お薬を飲まれている方はお薬手帳を確認させていただきます。 ・医師から中止と言われた薬は内服しないでください。※必要な方のみ	□内服薬は医師の指示のもとで服用して下さい。 		□指示により 点滴をします。 □指示にて筋肉注射をすることがあります。 □内服薬は麻酔科医の指示によります。	・24時間点滴を続けます。 ・抗生物質の点滴を手術室でします。 ・痛みに対しては痛み止めなど、吐き気に対しては吐き気止めなどの援助をさせていただきます。 	□水分がとれたらいつでもおり内服薬を服用してください。 □抗血小板剤、血糖降下剤は再開日をお知らせします。			
安静度		・制限はありません。		・ベッド上安静ですが寝返りはできます。	・歩行開始				
食事	・制限はありません。	・普通食 	・普通食 ※飲み物は水、お茶など透明なもののみとってください。	・絶食 ・水分は()時迄 	・絶飲食 	・許可があれば朝から水分がとれます。 ・問題なければ昼から三分粥 夕方から普通食になります。	・普通食 	・必要時に栄養指導	
排泄		・トイレ		・排便はベッド上	・トイレ				
清潔		・入浴できます。 			・体を拭きます。 ・陰部を洗います。 		・お腹の管が抜けたらシャワー浴ができます。	・入浴できます。	
説明指導	・主治医の診察および手術説明あります。 ・看護師から手術前説明があります。 ・入院担当事務から入院手続きに関する説明があります。 ・術前外来受診があります。(看護師より入院前生活情報についての聞き取りがあります。) ・術前歯科受診があります。※必要な方のみ	・入院時オリエンテーション ・手術前オリエンテーション ・手術説明(主治医) 時間未定 	・ご家族の方は手術開始2時間前までには病室へお越しください。	・手術の結果(患者・家族) 	・離床の説明 ・歩行練習 ・点滴や管の取り扱いについて			・日常生活指導 	

* 病状に応じて予定は変更することがあります。ご不明な点があれば、主治医・看護師にお尋ねください。

入院時必ず持参してください

傷の痛みがない、もしくは内服薬で日常生活に支障がない程度であれば退院できます。